

## 海洋理工学会平成 25 年度春季大会プログラム

5 月 16 日(木) 11:00 - 19:30

### シンポジウム「濁度計測の課題」

11:00-11:10 趣旨説明 千賀 康弘 (東海大)

11:10-11:50 S1. 濁度計は何をとらえているか?  
ー検出方法による反応の差, 懸濁物質による反応の差ー 横山 勝英 (首都大学東京)

昼休み

12:50-13:30 特別講演 海洋生物と懸濁物 坂本 亘 (京都大学名誉教授)

13:40-14:10 特別実験 濁度標準の違いによる測定値の変動 吉井 敏史 (JFE アドバンテック)

14:20-14:50 S2. 濁度センサーとその検定について 長澤 泰宏 (JFE アドバンテック)

15:00-15:40 S3. 積分球方式における濁度計測の特質と課題 鈴木 重教 (鶴見精機)

15:40-16:20 S4. モニタリングでの濁度計測における課題 渡辺 陽 (環境総合テクノス)

16:20-17:00 S5. 懸濁粒子の係わる物理現象と懸濁粒子測定法 秋葉 龍郎 (産総研)

17:00-17:30 パネルディスカッション

18:00-19:30 イブニングセッション

5 月 17 日(金) 9:30 - 17:40

### 一般講演

9:30-11:30 海洋生物 座長 三田村 啓理 (京大院)

A1. Characterization of Cellular Photosynthetic Activities of Phytoplankton with Fluorescence Imaging

○Kun Yu, Yuji Tanaka, Tatsuro Akiba

A2. Long time observation of escape behavior of *Oithona davisae* from a constant suction flow.

○劉宝波 東京海洋大学 Baobo, L.; Tanaka, Y (TUMSAT) and T. Akiba (AIST)

A3. *Oithona davisae* の捕食遊泳行動に関する研究

○程エンテイ・田中祐志 (海洋大)・秋葉龍郎 (産総研/海洋大)

A4. パルス状吸い込み流れに対する *Oithona davisae* の逃避行動

○夏樹娟・田中祐志 (海洋大)・秋葉龍郎 (産総研)

A5. 超音波バイオテレメトリーのための周波数変調方式を用いた超音波発信機の開発と評価

○中川正博、市川光太郎、笹倉豊喜、新家富雄、荒井修亮、三田村啓理

A6. 加速度データロガーを使用したアオウミガメの遊泳時における羽ばたき調節の推定

○西澤秀明 (京大院情報)、奥山隼一 (NOAA)、安田十也 (水研セ西海区水研)、荒井修亮 (京大フィールド研)、小林真人 (水研セ西海区水研)

11:30-12:10 総会・学会賞表彰

昼休み

13:00-13:30 ポスターセッション

P1. 沿岸生態リスク評価モデルを用いた東京湾の放射性物質濃度推定

堀口文男 (産総研), 江里口知己, ○柳田圭悟 (SAT), 亭島博彦 (海生研), 中田喜三郎, 高倍昭洋 (名城大院)

P2. 日本海におけるピコ植物プランクトン一次生産量の推定

茂木博匡・奥野章・渡邊達郎 (水研セ日水研)・中田喜三郎 (名城大院)

- P3. 進化する 無人探査機「ハイパードルフィン」  
 ○大野芳生（日海事），南部喜信（JAMSTEC），伊藤一寿（日海事）
- P4. 原核生物に対する環境影響評価のための高圧培養装置の構築  
 山田奈海葉・鶴島修夫・塚崎あゆみ・鈴木昌弘（産総研）
- P5. 海水の精密分析試料の保存に適した極低溶出容器の試作  
 ○鶴島修夫（産総研）

**13:30-15:30 機器開発**

座長 秋葉 龍郎（産総研）

- A7. トライトンブイのデータ取得率の推移（塩分センサ編）  
 ○田口正樹・橋向高幸・横田牧人・坂部志乃（MWJ）石原靖久（JAMSTEC）
- A8. 細径光海底ケーブル自動敷設システムの開発  
 ○崔鎮圭・西田周平・横引貴史・川口勝義（JAMSTEC）
- A9. 進化する 無人探査機「ハイパードルフィン」  
 ○大野芳生（日海事），南部喜信（JAMSTEC），伊藤一寿（日海事）
- A10. 自律型探査機「おとひめ」制御システムの開発  
 石橋正二郎、○大田豊、吉田弘、百留忠洋、中谷武志、菅澤誠（JAMSTEC）
- A11. 海水の電磁場応答に関する基礎研究 2  
 ○吉田 弘（JAMSTEC）
- A12. 曳航式水中放射線量測定システムの研究開発  
 ○笠原勉、大久保豊、鈴木幹夫、伊藤光明（いであ）

休憩

**15:40-17:40 海洋環境**

座長 中田 喜三郎（名城大）

- A13. 巨大津波により太平洋へ流出した海洋漂流瓦礫の監視  
 ○青山隆司・寺嶋恵（福井工大）
- A14. 大阪湾及び沿岸域における風力発電導入の概況  
 ○高祖研一・荒木龍蔵（日本気象）
- A15. 東京湾における放射性セシウムの現状についての解析  
 ○亭島博彦（海生研），江里口知己，柳田圭悟（SAT），堀口文男（産総研）
- A16. 数値モデルによるシロギス体内の放射性セシウムの推定  
 ○江里口知己，柳田圭悟（SAT），堀口文男（産総研），亭島博彦（海生研），中田喜三郎，高倍昭洋（名城大院）
- A17. 東京都内湾域の下層水貧酸素化メカニズムの検討  
 ○畑 恭子（いであ）・風間 真理（東京都環境局）
- A18. 北太平洋亜熱帯循環域における生産・分解の深度分布の推定  
 —酸素センサー付フロートの高解像度時系列データを用いて—  
 ○坪能和宏（日本 NUS）、須賀利雄（東北大院・JAMSTEC）、鋤柄千穂（名古屋大）、小林大洋、細田滋毅（JAMSTEC）